

平成30年 2月

# 舟木佳弘 学位論文審査要旨

主 査 萩 野 浩  
副主査 松 浦 達 也  
同 清 水 英 治

## 主論文

Resolvin E1 inhibits osteoclastogenesis and bone resorption by suppressing IL-17-induced RANKL expression in osteoblasts and RANKL-induced osteoclast differentiation

(Resolvin E1は骨芽細胞におけるIL-17誘導性RANKL発現とRANKL誘導性破骨細胞分化を抑制することで破骨細胞形成および骨吸収を抑制する)

(著者：舟木佳弘、長谷川泰之、岡崎亮太、山崎章、末田悠里子、山本章裕、矢内正晶、福嶋健人、原田智也、牧野晴彦、清水英治)

平成30年 Yonago Acta Medica 掲載予定

## 参考論文

1. Leukocytapheresis for the treatment of acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias: a pilot study

(特発性間質性肺炎の急性増悪の治療のための白血球除去療法：パイロット研究)

(著者：山本章裕、橋本潔、山崎章、高田美樹、森田正人、舟木佳弘、岡田健作、照屋靖彦、福嶋健人、清水英治)

平成29年 The Journal of Medical Investigation 64巻 110頁～116頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、RAにおける骨破壊の中で重要な役割を果たす破骨細胞形成と骨吸収に対するRvE1の抑制効果とそのメカニズムについて検討したものである。各種実験の結果、RvE1は、破骨細胞におけるRANKLにより誘導されるNFATc1およびc-fos遺伝子発現の抑制と、骨芽細胞におけるIL-17により誘導されるPGE<sub>2</sub>産生を介したRANKL発現の抑制という両方の作用により、破骨細胞形成と骨吸収の抑制効果を示した。本論文の内容は、RvE1がRAの骨破壊を抑制する治療薬となる可能性を示しており、明らかにリウマチ学における学術水準を高めたものと認める。